

平成 29 年 7 月 11 日 10 時 30 分 ～ 11 時 30 分

司会	亀岡清泉荘 代表 松野	記録	亀岡清泉荘 代表 松野
----	-------------	----	-------------

出席者 小規模・上野さま、曾我部町・大倉さま、亀岡市役所・葛井さま
 民生委員・並河さま、八田さま、後藤さま、亀岡市地域包括支援センターあゆみ・工藤さま、
 亀岡清泉荘・打越、長尾

欠席者 南条区区長 陸嶋さま 曾我部町 桂さま

- 7月11日現在の利用者さまの状況（別紙参照）
 小規模多機能ホーム登録利用者さま：27名、グループホーム登録利用者さま：9名
- 利用者さまの地域について（別紙参照）
- 職員体制（別紙参照）
- 事業活動について（別紙参照）
- 事業所内の活動について（別紙参照）
- 今後の予定（別紙参照）
- その他
 グループホームでの看取りの報告
- 亀岡清泉荘へのご要望、助言等

質問・要望・助言	回答・対応
グループホームでの看取りについて、どのような状況であったか。	7月9日午前1時に居室にてご主人が看取られる中やすらかにご逝去された。2カ月ほど前からカンファレンスを行い、主治医、訪看等の支援を受けながら、ホーム内の体制を整備する中での看取りであった。デスカンファレンスも行い、何ができたか、何が良かったかなど含めて取組内容を共有した。褥瘡もなくきれいなお身体であったのが、丁寧なケアができた結果であったと思う。
介護事業所での看取りは、ホスピスだと家族との時間もとれるが、入院の場合家族の関わりも難しく、十分な治療も行われない。看取りができる病院も少なく、本人や家族の意向も反映しにくいのが一般的である。 在宅やグループホームでは訪看の看取りの誘導があれば、準備や具体的な対応も説明を受け看取りもスムーズに行えると思う。	そのとおりで、今回の看取りには主治医、訪看の支援をしっかり受けることができ、特に看取りでは訪看の支援でご家族も職員も最後まで戸惑うことなく看取りを行うことができた。
多くの方の看取りを行ってきたが、お名前で声掛けをする、「もういいよ・・・」ではなく「よく頑張ったね・・・」の声掛けで送ることが大切だと思う。	今後の職員研修やカンファレンスで活かしていきたい。
高齢者涼やかスポットの活用法として、歌声喫茶的なイベントや何かの教室を無料で行うことも効果があるのではないか。	通常のカンファレンスとは別に、高齢者の方々が楽しめる行事、教室などを企画していきたい。
大雨、洪水等の季節で曾我部町でも心配される	清泉荘で、「非常足害対策計画」を作成してい

ことがあるが、どのような体制にしているか。
亀岡市内の施設では自治会との協力関係をつくっているところもあるようだ。

る。避難場所は曾我部小学校の体育館にしている。今後は自治会等との連携も考え、大雨、地震などの災害時の訓練も行うようにしていきたい。
また、備蓄の食料品、飲料なども整備していきたい。

次回、運営推進会議は平成29年9月13日（水）10時30分～12時00分までの予定。

